

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第39号

発行年月 2020年2月
発行所 岡山県訪問看護ステーション
連絡協議会
〒700-0805 岡山市北区兵団4-39
岡山県看護研修センター3階
TEL086-238-6688・FAX086-238-6681
http://okayama.houmonkango.net/
E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
発行責任者 江田 純子



令和二年 新年あいさつ

一般社団法人
岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 江田 純子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、当協議会の活動に対し多大なるご協力を頂戴し、厚く御礼申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。

この度、中山間地域で訪問看護を継続してこられたみどり訪問看護ステーションの押目有紀さんが、第48回読売医療功労賞を受賞され、大変嬉しく思いました。

さて、地域包括ケアシステムの深化・推進において、訪問看護ステーションは、それぞれの地域の人々に寄り添うステーションとして、住

民が住み慣れた地域で過ごすことができよう、住民の安心を支えております。また、地区活動のなかで、ステーション間の連携や多職種連携、災害対策等に取り組んでおりますので、活動がより一層広がっていくよう願っております。

来年度も、訪問看護ステーションの課題を解決し、安定した訪問看護事業が継続できるよう、様々な事業に取り組みますので、会員の皆様のアイデアとご協力・ご支援をいただきながら進めてまいりたいと存じます。

ステーションからのリレーだより

岡山済生会訪問看護ステーション

管理者 道仙 道子

「当ステーションは国体町ライフケアセンターより、平成31年3月から、外来センター病院・管理棟へ移転しました。病院管理の下、新たなスタートをし、1年が経過します。外来センター病院には、地域包括ケア病棟を80床有しています。平成30年度の診療報酬改定では、地域で求められる多様な役割・機能を果たすために評価を受ける病院側に対し、地域医療ではメインを包括ケア病棟へと向けられました。地域の先生方と包括ケア病棟・訪問看護ステーションとの連携を図りながら、がん療養・慢性疾患・障害・医療依存の利用者・ご家族のレスパイト等々の訪問看護利用者さまにご利用いただきながら、住み慣れた自宅での療養を訪問看護師16名と理学・作業療法士10名(兼務)で応援しています。

訪問看護ステーションあかいわ

管理者 菅野 友子

平成14年3月に開設し、早いもので19年目を迎えようとしています。現在は、看護師、リハビリスタッフを合わせ、8名という小規模なステーションですが、地域の皆様に寄り添いながら歩んできました。

ここ赤磐市は、高齢化率33.2%と全国を上回る上、西日本最大級と言われるマンモス団地もあり、今後ますます高齢化が加速することは間違いありません。

しかし、赤磐市には訪問看護ステーションが5か所のみで、どこも人員不足とスタッフの高齢化が進み、訪問看護のニーズが高まる中、どう支援していくかが課題となっています。

そんな中、私達は定期的集まり、情報交換や空き情報の確認を行い、たえず励ましあい、協力し合うことで、頑張っています。

少し息切れをすることもありますが、みんなで力を合わせ、これからもすべての出会いを大切に、努力して行きたいと思っております。

「訪問看護ステーションは大黒柱！」

医療法人ときわ会 藤井クリニック
藤井 基弘

賛助会員
からの
メッセージ

「できること」と「すべきこと」

医療法人ザイタックももたろう往診クリニック
小森 栄作



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。西日本豪雨災害では皆様からのご支援を頂き誠にありがとうございました。災害でも実感しましたが、訪問看護師さんによる在宅支援があるからこそ地域で暮らしていける方が大勢います。

訪問看護ステーションは在宅医療の要です。それこそ年末年始も大変お世話になりました。地域の中をあちらにこちらに本当に細やかにサポートをしてくださっていることに心から感謝をしています。誠にありがとうございます。小児から高齢者まで本当に年齢層がとても広い地域医療をサポートしてもらえることは、地域住民にとって本当に心からの安心に繋がっています。

医療に関しては医療用麻薬、CVポート栄養、重度褥瘡、点滴補液、尿カテーテル、チューブ栄養、入浴ケア、服薬、家族ケア…それこそ書き出したらきりがありません！加えて福祉・介護の面でも幅広く生活背景まで配慮してもらえる訪問看護師さんは本当に重要な存在です。

当院は開業して8年目、当院にはずっと看護師がいません…(院内ナースの必要性を感じていません)地域の実情を理解して多職種との連携管理もしてくれる訪問看護ステーションの皆さまがいるからです。本当にありがとうございます。

これからも地域医療の大黒柱として、患者さま、患者家族さま、多職種協働はもちろん地域の医師にも優しくご支援をいただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

「それは本当に患者さん・家族が望んでいることなの？」 スタッフからの報告を聞いていて、そう問いかけることがあるんです…ある訪問看護ステーションの管理者と話していたときに聞いたその言葉がとても印象に残った。

ちょうどその頃、ある患者さんの介護をしている奥さんからこんな話をきいたところだったからだ。「訪問看護の看護師さんにちょっと困るときもあるんです…」と苦笑されていたその話を要約すると、来てくれる担当看護師が一生懸命いろいろ勧めてくれるのだが、その通り全部やろうとすると却って大変になるので申し訳ないけれどできない、という内容だった。

いろいろ勉強してよく知っているが故に陥りがちな落とし穴なのだろうか。私自身もつい病院医療を在宅の場に持ち込もうとしてしまっている自分に気付くことがある。

「できること」と「すべきこと」は同じとは限らない。知識や技術が大事であることはいうまでもないが、医療の出発点は患者さん・家族のニーズにある。いろんな選択肢を呈示しても決して強要することなく、本当に満足してもらえるのは何かを一緒に考えることを大事にしたい。

やればできるが敢えてやらないという姿勢もある。それは私が病院から在宅医療の世界に入って知ったことのひとつである。

新設のステーション紹介

ともに訪問看護ステーション(岡山C)

管理者 岸本 舞美

はじめまして。私たちは「ともに訪問看護ステーション」といいます。岡山市今に令和元年、10月新設致しました。これまで居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションを展開していましたが、この度訪問看護の立ち上げに伴い、今まで以上に利用者さまを全人的にサポートできる環境が整いました。いずれも同事業所内に設置されていますので、ケアマネージャーやヘルパー、ナースが直接顔を合わせて、連携を密にとることができ、より質の高いサービスが提供可能になりました。利用者さまに寄り添い、日々の生活を温かく支えることを目標に地域の皆様、他施設の皆様のお力をお借りしながらサービスを提供させて頂く所存です。今後とも「ともに訪問看護ステーション」をよろしくお願い致します。

栄養士の活動

公益社団法人岡山県栄養士会 会長 坂本 八千代

昨年も想定外の災害が起き、地域における連携がますます重要になって参りました。活動する中で、様々な方から「栄養は大事だね！」とお言葉を頂きました。食べ過ぎてメタボリックシンドローム、食べ足りなくてフレイル、さらにオーラルフレイル、大きな意味での生活習慣病対策を如何に実行するかが課題です。そうした中で、在宅で栄養管理を必要とされる方と我々を繋いでいただくのが訪問看護ステーションの皆様であり、ケアマネージャーの方々です。かかりつけ医の先生方から依頼があつて、管理栄養士が介入できます。食べることは生きること、美味しさがあつての楽しみです。皆様と一緒に活動の輪を広げて参りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

岡山市公衆衛生功労者表彰

創立10周年目に頂いた感動の公衆衛生功労者市長表彰

訪問看護ステーション絆 管理者 玉谷 弘美



この度、「看護師として多年にわたり地域医療の向上に貢献」という事で市長表彰を頂きました。私達の活動は地域皆様をはじめ多くの関係機関の方々のご協力の元、成り立つものと実感しております。私自身の活動といたしましては平成4年に制度が出来た時から訪問看護に携わり未熟な私がお利用者、ご家族の方々と共に歩んできたこの大好きになった訪問看護の仕事をする事ができましたのも支えられ成長させていただいたお陰と感謝しております。この度は、誠にありがとうございました。

訪問看護ステーションサマリア 管理者 谷口 勝江

この度、公衆衛生功労者として表彰していただき、身に余る賞と大変恐縮しております。

これまで、仕事を通して医療、福祉の分野に携わってまいりました。振り返りますと多くの困難や壁もありましたが、その一つ一つが、私に何かを与えてくれたと思います。

若いころは、がむしゃらに突っ走っていただけの私も、多くの方々の人生に関わる仕事をさせていただき、そのなかで学び育てられました。私は、この賞をいただいたことに合わせて、これまで看護という仕事に携わってこられたことを誇りに思います。

憧れの渡辺和子先生の言葉に「置かれた場所で咲きなさい」という有名な言葉があります。看護師として30年余り、わたしも今、この場所で蕾ぐらひは咲かせたのでしょうか。この賞をいただいたことを感謝するとともに皆様の激励や期待がこめられたものと思い、大輪とはいかないまでも小輪ぐらひは咲かせられるよう、これからも精進してまいりたいと思います。

訪問看護認定看護師としての取り組み、働き方

倉敷中央訪問看護ステーション 管理者 樋口 妙子

2017年に訪問看護認定看護師として登録いたしました。近年、在宅で医療・介護を支える訪問看護は一層重要となり需要も大きくなっています。倉敷市地域の方に対して、地域の医療をともに考える「わが街健康プロジェクト」に参加させていただき「訪問看護って？お家でなにしてくれるのかな」と題した講演を行いました。参加の方から「訪問看護が、わかったわ」とお言葉頂くことができました。訪問看護師として地域交流は地域共生社会の大切な役割りであると考えます。

また、訪問看護養成講習やアドバイザー派遣事業で個別相談会に参加し、訪問看護師のサポートを行いました。私にはまだアドバイザーとしての能力は乏しく、経験豊富な訪問看護認定看護師から相談援助方法を学ばせて頂いています。在宅ケアの課題が複雑となっても本人の意向に沿った暮らしができることを目標に頑張っていきたいと思います。

「体験研修から就職」

訪問看護ステーション紙ふうせん 今石 倫代

訪問看護師になり4年が過ぎました。訪問看護をはじめたきっかけは、5年前受講した訪問看護プチ研修です。「訪問看護ってどんなことをしているんだろう」と軽い気持ちからの受講でした。講義と2日間のステーション実習で訪問に同行させていただき感じたことは、利用者との関わりが深く、家族を含め生活に寄り添い支えているという事でした。

利用者は医療依存度が高い方が多く、病院と変わらない看護を求められます。また、看護を受ける環境は十人十色のため状況に合わせた柔軟さも求められます。訪問看護は安心して在宅療養生活ができる架け橋となるべく連携を大切にしています。在宅生活を支える看護から広がる人の輪も訪問看護の魅力の1つだと私は思います。

認定看護師名簿

1. 認定看護師登録者一覧

認定分野	氏名	所属
1 訪問看護	菅崎 仁美	岡山訪問看護ステーション看護協会
2 訪問看護	金尾 知子	倉敷中央訪問看護ステーション
3 訪問看護	樋口 妙子	倉敷中央訪問看護ステーション
4 皮膚・排泄ケア	岡崎 幸恵	訪問看護ステーションエール
5 皮膚・排泄ケア	天野 晃子	訪問看護ステーションかわさき
6 がん性疼痛看護	赤瀬 佳代	訪問看護ステーション晴
7 摂食・嚥下障害看護	平元美由紀	訪問看護ステーション晴

2. 認定看護管理者登録者一覧

認定分野	氏名	所属
1 認定看護管理者	塚本 由佳	水鳥虹の訪問看護ステーション
2 認定看護管理者	岡 恵子	ピーチおかやま訪問看護ステーション

3. 特定行為研修修了者

天野 晃子 (訪問看護ステーションかわさき)

「認知症カフェ」



吉備中央訪問看護ステーション看護協会
管理者 平井 淑子

吉備中央訪問看護ステーション看護協会は、みつ訪問看護ステーション看護協会のサテライトとして平成28年3月に開設しました。開設と同時に、月に1回認知症カフェを開催しています。認知症の人やその家族、地域住民、そして認知症について気になる人などが気軽に集まり、安心できる集いの場として、お茶を飲みながらアクティビティーや講話、介護相談などを行っています。医療やケアの専門職としての看護師等の持ち味を生かし、バイタルサインの測定や体力測定を加え、健康促進や認知症予防に役立つ情報を提供しています。開催から4年目となり、参加者から「来て話すことが一番楽しい」と言われることも増え、身近な地域での集いの場の重要性を感じています。今後も、認知症の理解・啓発、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一翼となるべく活動をしていきたいと思ひます。

「看護実践に役立つ豆知識」

便利グッズの紹介

定規柄のマスクングテープ

ナーシングアイル 管理者 芦谷 真理子

身近なものに貼るだけで、何でも定規に早変わり！
直接皮膚に貼り創部の写真を撮れば、大きさが分かりやすく経過記録に役立ちます。

首掛け式のLEDライト

暗めの室内での爪切りや、両手がふさがってしまう創処置、排泄ケアなどの時に、手元を明るく照らします。角度調節ができるタイプが便利です。

切らない爪切り。爪けずり器

老眼鏡いらずで、安全に爪の処置ができます。キャップ付きで携帯に便利です。削った爪かすは、本体内部に入るのでまき散りません。本体ごと水洗いができます。



メモリ付
マスクングテープ



爪削り器

広報委員会 からのお願い

上記記事のような

- ◆各地区・ステーションで実施されている特別な活動
- ◆看護実践に役立つ豆知識
- ◆独自に工夫し使用している便利グッズ等

の情報を募集しています。

今回広報誌に同封している、アンケート用紙にて情報をお寄せください。

編集 後記

令和になり、初めての新年を迎えました。2020年、干支はねずみ年。とてもきりのよい年ですね。十二支の一番初めの「子年」には、物事の始まり、可能性や変化といった意味があるそうです。今まで踏み出せなかったことにチャレンジしたり、心機一転新しい事を始めてみるのもよいかもしれません。

暖冬とはいえ急に冷え込む日もありますので、皆さま健康に気をつけて頑張っていきましょう。 広報委員一同